

Ⅱ. 特集－1 県立離島児童生徒支援センター

1. 計画概要

所在地：沖縄県那覇市東町

工期：平成26年3月～平成27年12月

構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上5階建（寮室120室）

敷地面積：1,272.68㎡

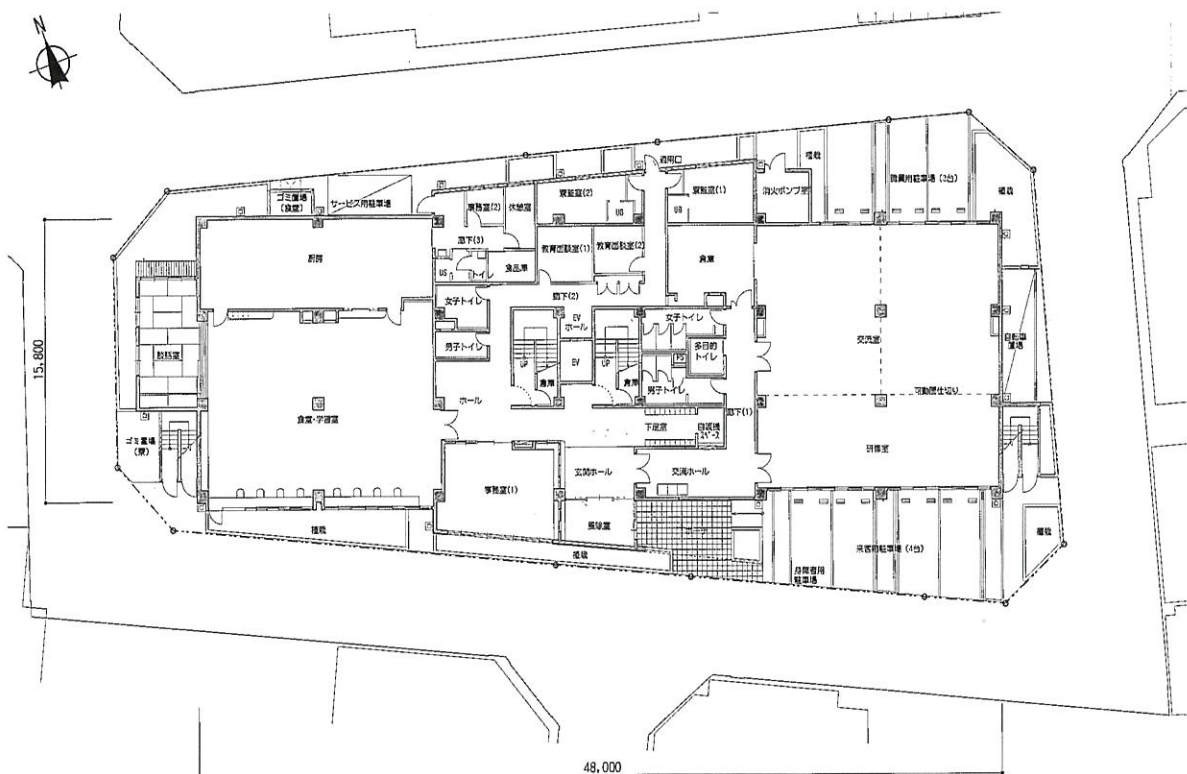
延べ面積：3,235.71㎡

2. 施設概要

沖縄県立離島児童生徒支援センターは、高校のない離島から沖縄本島に進学する子ども達の多くが、賃貸アパートや親戚・知人宅への同居を余儀なくされ、さらには進学の際に一家転住するなどの状況がある中で、経済的な負担の軽減を図るための公立寮として整備された。

3. 設計コンセプト

寮生のプライベート空間を確保するため完全個室とし、1階の共用エリアを除いて男女の動線を分離する計画として男女別専用階段を整備した。寮室については管理用扉を利用して男女の寮室数を調整できるように配慮し、海拔の低い地域であり緊急時には寮生の屋上への避難を想定して備蓄倉庫を整備した。



配置図兼1階平面図



建物外観



エントランス



エントランスホール



交流室



事務室

Ⅱ. 特集－2 県立石川青少年の家

1. 計画概要

所在地：うるま市石川

工期：平成26年7月～平成27年7月

構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上2階建（一部鉄骨造）

敷地面積：121,361 m²

延べ面積：宿泊棟等：2017.99 m² 体育館：951.12 m²

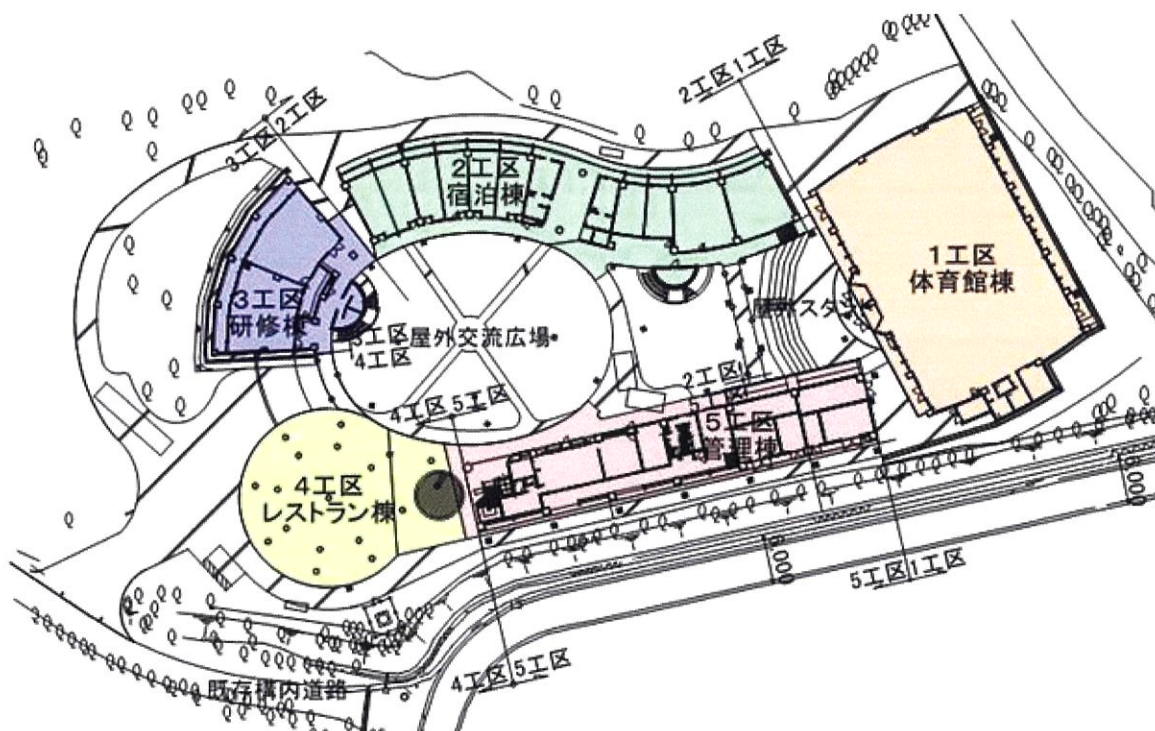
2. 施設概要

沖縄県立石川青少年の家において老朽化した既存建物の建替え工事である。

体育館棟・宿泊棟・研修棟・レストラン棟・管理棟の5棟からなり、地形の形に合わせて分散型配置とし、南北を軸として北側に石川岳が見え自然と景観の調和が得られるような配置となっている。

- ・体育館棟は、バスケットコート1面、バレーボール2面、バトミントン4面で、成人男性の競技が可能となる空間となっている。
- ・宿泊棟は10人部屋12室、20人部屋4室、リーダー室(4人)4室の2階建となっており、合計216人収容となっている。
- ・研修棟は1階に第1研修室(72人)と第2研修室(36人)、2階に大研修室(204人)があり、合計312人収容となっている。
- ・レストラン棟は1階ピロティで、雨天時などの集合場所として利用し、2階はレストランで、最大218席想定で計画。
- ・管理棟は事務室・施設長室・保健室・トイレなどがあり、2階にはリーダー室(2人)4室・シャワー室がある。屋上は広場となっており星空観察など、多目的広場として利用できる。

3. 設計コンセプト





全体外観



屋外交流広場



宿泊棟



レストラン棟



体育館棟

国際物流拠点産業集積地域高度技術製造業賃貸工場（3号棟）

1. 施設概要

所在地：うるま市勝連南風原
工期：平成27年4月～平成27年12月
構造・階数：鉄骨造 平屋建
敷地面積：12,200.04 m²
延べ面積：4,770.00 m²

2. 計画概要

国際物流拠点産業集積地域うるま地区において、人・モノ・技術・投資を呼び込む高付加価値・高度部材産業の立地を促進するため、賃貸工場を整備し、入居する企業の初期投資の軽減や早期操業を支援し、県内の製造業及び関連産業の振興を図る。

ものづくりの先進モデル地域の形成に向け、高度・先端技術等を活かして高付加価値な製品を製造する企業などの立地促進を目的とした賃貸工場である。



外観



事務所



ロビー内

ウリミバエ大量増殖施設

1. 施設概要

所在地：那覇市真地
工期：平成27年11月～平成28年3月
構造・階数：鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階
敷地面積：18,131.00 m²
延べ面積：3,979.82 m²

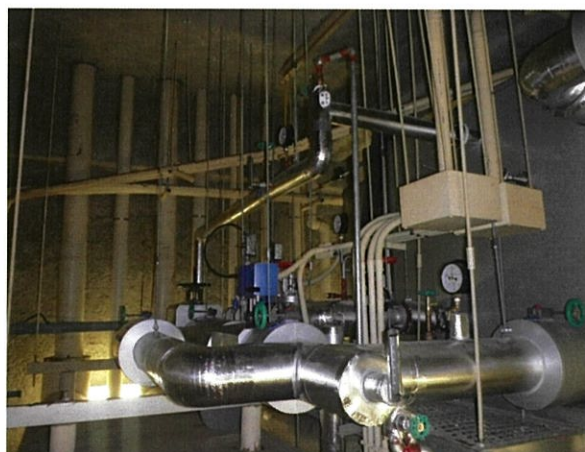
2. 計画概要

病虫害防除センターにあるウリミバエ大量増殖施設の改修を行う工事である。

本施設はウリミバエやイモゾウムシ等の根絶・再侵入防止を目的とした施設で、ウリミバエ不妊化虫の大量増殖を行っているが、大量増殖棟が昭和59年の完成であるなど設備の経年劣化が著しいことから、継続的に設備更新を実施している。平成27年度は大量増殖棟の温度管理を行う空調設備、廃水处理棟の脱水設備、及び配管類など各部の改修を行った。



2階機械室空調ダクト取替後



2階機械室配管取替後



3階機械室ダクト取替後



蛹室上部機械室空調機取替後

那覇商業高校屋内運動場・武道場及びプール

1. 施設概要

所在地：那覇市松山
工期：平成26年8月～平成28年1月
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上4階建
敷地面積：14,981.02 m²
延べ面積：4,505.16 m²

2. 計画概要

昭和56年に建設された屋内運動場は、施設の老朽化ならびにグラウンドの狭さ等、さまざまな課題に対し下記の項目に配慮し改築を行った。

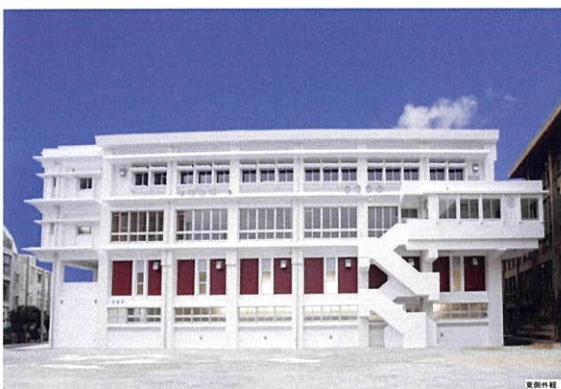
- 配置計画：一体性・効率の良い施設運営を重点に置き、校舎棟や管理棟と階高を合わせ、建物間の動線の回遊性を確保しながら、安全に円滑な移動を可能にした。更に建物をコンパクトにまとめることにより、グラウンドを最大限確保することも可能となった。
- 設計コンセプト：西側の学校教室(校舎棟)ならびに南側近隣建物への騒音対策、屋内運動場の採光・通風の確保に留意した。
 - ・西側学校教室(校舎棟)への騒音対策：屋内プール、アリーナを東側に配置し、かつ校舎棟との間に更衣室、屋外通路等の音の緩衝空間を設ける事により低減した。
 - ・南側近隣建物への騒音対策：各階南側に更衣室や遮音バルコニーを設けるなど、主要施設を北側に寄せる事により南側への音の漏れを最小限にしている。
 - ・採光の確保：各階東側に大きく開口部を設け、庇等により日射調整をしながら採光を確保している。
 - ・通風の確保：採光と同様に東側開口部から風を確保しながら、南側の舞台背面にも開口部を設け、通風の確保に努めた。



南側外観



南側正面玄関



東側外観



西側外観

県営名護団地

1. 施設概要

所在地：名護市大北
工期：平成26年3月～平成28年1月（第4期）
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上10階建
敷地面積：66,913.61㎡
延べ面積：3,595.77㎡

2. 計画概要

昭和48年から昭和51年に建設された県営名護団地は、施設の老朽化と居住水準の向上の為に建替工事を行った。

建替工事は4期に渡って建設され、1期工事は平成23年度に8階建56戸、2期工事は平成24年度に10階建90戸、3期工事は平成26年度に6階建49戸の住宅が完成し、今回最終となる4期工事が平成27年度に10階建48戸の高層住宅が完成した。

設計コンセプトの、「全ての人々が快適に住む事のできる緑に囲まれた団地」に基づき、長寿社会に対応した施設計画を図るとともに、これまで培われたコミュニティの維持・発展に努め、地域から愛される団地を提案する。



南東側外観



北西側外観



2DK（車椅子対応）DK

県営与那原団地

1. 施設概要

所在地：与那原町字与那原

工期：平成25年10月～平成27年6月（第2期）

構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上10階建

敷地面積：9,338.12 m²

延べ面積：3,410.83 m²

2. 計画概要

「すべての人が快適に住むことのできる緑に囲まれた団地」

与那原団地は、高齢者世帯及び子育て世帯が比較的多く団地内の自治会活動が盛んで、団地内の清掃・植栽等の管理が良く緑に囲まれた団地である。新たな団地計画に当たって、高齢者や障害者等のすべての人々が生活しやすい環境、緑豊かな環境が望まれている。築約35年を経過し建築の劣化が著しい状況であり、居住水準の向上とバリアフリーの普及等の現在のニーズに対応できない環境である為、1号棟に引続き2号棟の建替工事を行った。



建替前



外観パース



北側外観



南側外観

Ⅲ. 主な完成物 土木建築部

県営神森団地

1. 施設概要

所在地：浦添市仲西
工期：平成26年1月～平成27年5月（第1期）
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上10階建
敷地面積：3,810.87㎡
延べ面積：6,261.63㎡

2. 計画概要

県営神森団地は、昭和50年度の建設から約40年が経過し、老朽化や居住面積が狭小であるなどの問題から建替工事を行った。2棟の高層住宅を2期に分けて建設する全体計画のもとで、今回の第1期工事では、敷地北側に位置する1号棟の96戸と受水槽・ポンプ室等の附属施設や駐車場の一部を整備した。居住面では多様な家族形態に対応出来るよう3LDK、2LDK、2DKのバリエーションを設け、高齢者への配慮として「沖縄県福祉のまちづくり条例」に基づく設計を行ったほか、1階に車いす対応住戸を2戸設けた。日照、通風、日影を意識しながら効果的な緑の配置を計画し、浦添市の掲げる「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」にふさわしい団地を目指した。



東側外観



西側外観



集会室内観